

議会 とだより



3月定例会

No.178

2013年(平成25年)5月1日

新曽南コミュニティ施設設置
平成25年度予算を可決
p2

楽しいな～♪

庁舎耐震改修工事

工期を1カ月延伸 p5

委員会の審査から	6
議案に対する討論	8
総括質問	9
一般質問	12
ほっとコーナー	20



▲賛成多数で25年度国民健康保険特別会計予算を可決（右上は榎本議長）

新曽南コミュニティ施設設置

平成26年4月開館を目指して

平成25年度予算を可決

平成25年
3月
定例会

2月21日～
3月21日

主な議案

3月定例会は、2月21日から3月21日までの29日間の会期で開かれました。本定例会には474億円に上る平成25年度一般会計予算など51件の市長提出議案が提案され、いずれも可決・同意しました。

また、3日間にわたる一般質問では、14人の議員が活発な論戦を展開しました。委員会提出議案では、政務調査費の交付に関する条例の一部改正など3件、議員提出議案では意見書1件が提案され、いずれも全会一致で可決しました（p3参照）。請願では「国は埼玉県内の国公立大学に医学部の新設を認めてください」の意見書を国に提出を求める請願」について、継続審査といたしました。

主な議案の概要

【25年度予算】

一般会計の歳入歳出を、それぞれ474億4千万円とするものです。

文化会館

5階改修工事

5階部分について、結婚式関連事業から撤退し市の文化活動の拠点として整備する工費約1億1100万円。

Q工事内容と利用開始

質 疑

時期は。

A 神殿を小規模な発表会等を可能とした多目的室へ、写真室及び親族控室は練習室をメインとした多目的室へ、衣装室は市民が身近に芸術鑑賞ができるアートギャラリーへの改修を行う。利用開始時期は来年5月ごろ。

新曽南コミュニティ施設設置事業

旧法務局戸田出張所跡地建物の1・2階部分を、コミュニティ施設として整備する。



▲移設予定のふれあい安全ステーション（上戸田ふれあい広場）

設として、平成26年4月開館を目指し整備を進める費用約3億5700万円。

質 疑

Q具体的な内容は。

A 施設整備に当たり、幅広い多世代交流の機会となる施設を目指していることから、施設の機能や部屋の内容については、跡地建物周辺町会及び多世代にわたる団体並びに公募市民で構成した施設検討委員会を設置し、市民の意見をくみ取りながら決めた。1階に防音設備を施した多目的室及び音楽練習室と市民ギャラリー。2階には可動式間仕切りを設置した大会議室と図書コーナー、談話コーナー、和室、プレイルームと併設の赤ちゃんの駅等。

ふれあい安全ステーション設置事業

ふれあい安全ステーションが設置されている上戸田ふれあい広場については、上戸田福祉センターの再整備予定地とされていることから、当該安全ステーションを旧下戸田交番の跡地へ移設する費用約1700万円。

質 疑

Q移設時期と現在のステーションとの変更点は。

A 移設時期は平成25年12月ごろ。防犯対策などの相談がしやすいローカウターの設置や、犯罪情報の情報交換の場となる打ち合わせスペースの設置など、施設の大規模な改修とともに、車いす対応の多目的トイレの設置など、バリアフリー化

を行う。敷地面積約270平方メートル、建築面積約90平方メートルのプレハブづくり平屋建て。

マルチペイメント・ネットワーク 収納業務

銀行のATMやインターネットバンキングから税の納入を可能にするマルチペイメント・ネットワーク（ペイジ）、及びクレジット収納を導入するための費用約2900万円。

質 疑

Q導入メリットは。

A 納付手段の多様化による納税者（市民）の利便性の向上が最大のメリット。納税者が金融機関やコンビニに出勤せずに自宅で納付できる。平成26年度から導入。

家具転倒防止器具 給付設置事業

災害時要援護者である75歳以上の高齢者のみの世帯、要介護認定4・5の者が属する世帯、重度障害者が属する世帯を対象として、家具転倒防止器具の給付設置を行い、災害時要援護者の災害予防、減災対策を図るための費用約260万円。

質 疑

Q内容は。

A 家具の下に安定板を敷き、家具を少し後ろに傾斜させ、家具の上端部が壁にもたれるように設置する。メーカーの耐震性能試験によると、震度7でも食器棚の転倒を防ぐ結果が出ている。事業の周知は、広報戸田市4月15日号に掲載。

保育園業務システム導入事業

質 疑

Q 内容は。
A あらかじめメールアドレスを登録することで、保育園に在園している児童の災害時における安否情報を一括して保護者に知らせるシステム。各園ごとやクラスごとに区分して送信できることから、運動会や遠足等の行事における、天候による開催有無などの情報伝達の運用も予定している。
平成25年10月の運用開始を予定。

歩行者自転車道路整備事業

歩行者自転車道路網整備計画に基づき、歩行者・自転車・自動車の三者それぞれの安全

質 疑

性と円滑性を高めるため、歩道、自転車レーン、車道の整備を行う費用約1億1400万円。

Q 市内3カ所は、どのように整備するのか。また、今後の整備は。
A 4つの視点を考慮している。①歩行者・自転車・自動車の利用が多い②交通事故の発生が多い③駅、学校、商業施設等の歩行者や自転車の集中が予測できる④緊急輸送路として指定している区間。
平成25年度に整備を予定している箇所については、車道部の路肩部分、通常、車が通行しない部分1メートルから1.5メートル程度を青色系で着色する予定。
今後、戸田市歩行

質 疑

Q 設置箇所数と、その選定方法、今後の計画は。

A 3カ所に新設。平成25年度に改めて市内の防災行政無線の、音声の伝わりぐあいを調べる調査を実施。特に対策が必要な地域を選定し子局を設置していきたい。今後は、引き続き既存の防災行政無線のデジタル化を行っていくとともに、増設した効果を検証した上

質 疑

Q 具体的内容と、運用開始時期は。

A 市が紙資料として保存している市内300カ所のボーリングデータを電子化し、市が運用する地理情報システムに機能追加する。このシステムを市ホームページで一般公開することにより、本市の液化化の危険性の周知や情報提供を行うもの。できる限り早期に導

図書館開館時間の延長

平成25年7月より、本館の開館時間を平日は午後8時まで、分室は午前9時から午後6時までとすることに伴う委託料等の経費。

ランニングコース整備業務委託

平成23年度に戸田市政策研究所において実施した調査研究の提言に基づき、ウォーキング・ランニングのまちづくり事業としてコースの選定、整備を実施。平成25年度ランニングコースに係る経費約430万円。

質 疑

Q 選定箇所と時期は。
A ランニングコースについては、彩湖周回

で増設を検討していきたい。

入できるだけ準備を進めていきたい。

液化化予測情報システム構築業務

市で保有している地質調査の情報を電子データ化し、市民への情報提供が可能となるようシステム化し、インターネットで公表するための費用。

条例3件(委員会提出議案を可決、意見書(議員提出議案)を国・政府に提出

◇戸田市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例

地方自治法の一部改正に伴い、名称を「政務活動費」に改め、従来、規程で定めていた「使途基準」を「政務活動費を充てることが

できる経費の範囲」として条例で定めることにしたものです。

また、地方自治法の一部改正では、使途が拡大され、「議員の調査研究」だけでなく、「その他の活動」にも使えるようになり、従来、認められていなかった、陳情活動等のための旅費や、意見交換会等の参加に要する費用などにも使用できることになりましたが、今回の条例改正には盛り込まないことにしました。

さらに、政務活動費の使途の透明性の確保

が議長に求められたことを踏まえ、「使途の透明性の確保」の規定を、条例に盛り込んだものです。

施行期日は平成25年3月1日からです。

◇戸田市議会基本条例の一部を改正する条例

「政務調査費」の名称を「政務活動費」に改める等の改正です。

◇戸田市議会委員会条例の一部を改正する条例

4月1日に施行される行政組織の改正に合わせて常任委員会所管の見直しを行うものです。

◇中小企業の再生・活性化策の充実・強化を求める意見書

依然として厳しい状況が続いている中小企業に対する支援策は金融支援だけでは不十分で、再生・活性化策が極めて重要となっており、早急な対策を講じるよう要望するものです。

2月臨時会

庁舎耐震改修工事

工期を1カ月延伸

主な議案の概要

◎庁舎耐震改修等建築工事請負変更契約 外2件

現在実施している庁舎耐震改修等工事において、基準値を超える自然由来のヒ素を含む地層があることが判明し、残土汚泥処分費用等の設計変更を行ったものです。

変更による請負代金額は約4億2千万円の増、変更後の工期は1カ月延伸し、平成27年1月19日までとするものです。

質 疑

Q 以前、新舊の調整池工事において、同じ

ようにヒ素が検出された。なぜ事前の地質調査をしなかったのか。

Q 人体にどの程度の影響を与える量か。
A 1リットル当たり0・01ミリグラムの基準に対し、0・012から0・053ミリグラムが検出された。書籍では、成人では100から300ミリグラムを直接摂取すると致死量に当たると解釈されているようだ。

Q 4億2千万円の内訳は。

A 残土、約1万6千立方メートルの処分費。

Q 今後予定される工事についての考えは。

A こどもの国や上戸田福祉センターなどが予定されているが、地層の調査は行っていない。

◎24年度公共下水道事業特別会計補正予算

下水道使用料の誤徴収(平成19年4月から平成24年12月の間)が判明したことにより、過年度還付金、約8640万円等を増額補正するものです。

質 疑

Q 支払い金額の内訳は。
A 還付金約7500万円、還付加算金約1140万円。

Q 今後の対策は。

A 下水道課内で汚水排水量の申告を受け付ける担当と、設備を管理する担当とで連携を図り、図面と現地の確認を徹底したい。特に大規模事業所については、定期的に汚水排水量をチェックして、前年同月との比較で異常値があるかどうかを確認していきたい。

【人事案件】

◎教育委員会委員の任命について

鈴木 晃氏(再任)

コースと、戸田橋から笹目橋までの荒川堤防コースの2カ所を選定。ウォーキングコースについては、比較的ウォーキングに適した5コースを、平成25年度からの2カ年計画で整備していく。ランニングコースの整備は平成25年度中を予定しているが、5つのウォーキングコースを含めると、すべてが完了するのは26年度末を予定。

総務常任委員会

文教・建設常任委員会

健康福祉常任委員会

市民生活常任委員会

委員会の審査から

こんな質問、
あんな意見もありました。

議案や請願は、委員会に付託されて、慎重に審査されます。
その経過と結果は、3月21日の本会議で各委員長から報告
がありました。下記はその概要です。

総務

※各常任委員会の所管部署
政策秘書室・総務部・財務部・
会計課・行政委員会事務局等

組織改正に伴う、公共施設の 適正な管理・運営を

【戸田市防災会議条例の一部を改正する条例】
災害発生時の議会の
関わり方について質疑
があり、執行部から、
災害時の議会の役割は
検討を要するが、防災
会議ではなく、災害対
策本部に議会が関わる
ほうが望ましいとの答
弁がありました。

【25年度予算】
議会費では、議
会改革を進める上
で、事務局の人員、
研修体制を充実し
てもらいたいとの意
見がありました。
財産管理費では、
公共施設中長期保全
計画策定業務につい
て質疑があり、執行
部から、他の担当で



▲耐震等改修工事の公共施設（市役所本庁舎）

健康福祉

福祉部・子ども青少年
福祉事務局
市民医療センター

待機児童解消に向けて 保育園整備の促進を

【25年度予算】
児童福祉運営費では、
今後の保育園整備に関
する質疑に対して、従
前であれば、定員90名
程度の保育園を整備で
きたが、用地の確保
を勘案すると、今後
は60名程度の小規模
な保育園整備になる
見込みであるとの答
弁がありました。これ
に対して、定員確保
のため、速やかに
整備に関する協議を
進めてもらいたいとの
意見がありました。
学童保育費では、
学童保育内容の向上
に関する質疑に対し
て、指導員が常時、
原則複数体制で保育
に当たるなど、児童
の健全育成と安全に



▲4月1日に開園したげんき保育園（新豊）

文教・建設

都市整備部
教育委員会

市民要望を踏まえた工事に ：ゾーン30

【24年度補正予算】
道路維持費では、歩
道橋等点検業務につい
て、全国的に歩道橋の
撤去が進んでいるが、
点検結果において、劣
化が確認された場合の
対処はどうするのかと
の質疑があり、執行部
から、点検結果を踏ま
え、今後の補修計画を
立てていきたいとの答
弁がありました。

【25年度予算】
道路維持費では、25



▲ゾーン30対策工事で整備されます（喜沢小西側）

※ページ（MPN収納）とは各種収納機関と金融機関をネットワークで結ぶことにより、利用者が金融機関のATMや自宅のパソコン、携帯電話を利用したインターネットバンキングで税金や公共料金等の支払いができるサービス。

市民生活

市民生活部
消防本部
上下水道部

より利用しやすい制度融資と なるよう検討を

【25年度予算】
文化振興費では、文
化会館5階の改修工事
による他のフロアへの
影響について質疑があ
り、執行部から、大き
な騒音を伴う作業は、
休館日に合わせて実施
していききたいとの答
弁がありました。
コミュニティセンタ
ー費では、新曽南コミ
ュニティ施設の整備に

【市民医療センター特別
会計予算】
診察までの待ち時間
に関する質疑に対して、

予約制にすれば、
待ち時間を短縮で
きるが、診察枠が
減ってしまったため、
導入していない。
外来診療を効率よ
くこなせるよう努
めたいとの答弁が
ありました。



▲新曽南コミュニティ施設が入る予定の新曽南庁舎

ていくとの執行部の答
弁に対し、資金繰りに
苦しむ中小企業は依然
多く、より利用しやす
い制度となるよう検討
してもらいたいとの要
望が出されました。

【水道事業会計予算】
水道料金の値上げに
ついて質疑があり、執
行部から、果水の価格
は、25年度は現行どお
りだが、26年度以降は
未定であることから、
変動した場合は、現行
の水道料金で水道経営
が維持できるかを検討
した上で、判断したい
との答弁がありました。

被災地への人的支援を
継続すべき

「要請に基づき継続する」

平成会 秋元良夫 議員



議員 被災地の復興支援のため、行政事務のノウハウを持つ職員派遣を継続すべきでは。
市長 全国市長会などの要請に基づき、積極的に派遣する。
議員 防災について①新たに設ける「危機管理監」の位置づけは②被災時に応援を受け入れられる受援計画の策定が必要ではないか。



▲戸田市からも宮城県栗原市に3カ月間、事務職員を派遣（延べ59人を被災地に派遣）

市長 ①災害対策本部で副市長に次ぐ副本部長となる。専任部長として、防災・危機管理体制の強化を図る②必要性は認識しており、地域防災計画のマニュアル策定において取り組む。
議員 公共施設老朽化の対応に必要な経費の見込みと今後の対応は。
市長 24年度は7億1千万円。今後は施設更新

新を見込むと、ピーク時には年間40億円から90億円を見込む。今後は、計画的な維持保全により長寿命化を図り、公共施設再編方針を策定し進める。対応に向け新たな組織を設置し、ファシリティマネジメントに取り組む。
議員 土地開発公社の債務保証圧縮が進んだ。ここで解散を検討してはどうか。

市長 解散では、単年度の公債費による財政負担増により、他の施策に影響が及ぶ。用地の買い戻しと、区画整理の進捗に合わせ売却を進め、地方債を活用し、財政負担の平準化を図りながら、健全化を進める。

総括質問

総括質問とは、新年度の施政方針または市長就任時に行われる所信表明に対する、会派による代表制質問のことです。

今定例会では、3月1日の本会議において、5人の議員が会派を代表して総括質問を行い、市長の施政方針に対して考えをいただきました。

施政方針の内容は、4月1日号の「広報戸田市」に掲載されていますので、あわせてご覧ください。

なお、この総括質問に関する原稿は、質問者本人が執筆しております。



▲みなさんも一緒にお花見を楽しみましょう…新曽南の桜

討論

今定例会では、議案5件に対して延べ8議員が討論を行い、いずれも賛成多数で可決しました。

戸田市臨時職員等の給与等に関する条例

賛成 金野桃子 議員

判例踏まえた規則制定を

最高裁判所判決を受け条例案を上程したことを評価し賛成する。

もともと、議会条例主義をかんがみた規則制定・遵守、及び条例制定にとどまらずに職員の人的体制や人件費等の根本的・全体的な改善を引き続き行ってもいい。

平成24年度介護保険特別会計補正予算

賛成 金野桃子 議員

正確な実態把握を

今回過去にないほどの補正の理由は、介護

サービスの給付者の算定等の把握を誤ったためである。高齢者数は予算に大きく影響する。可能な限り正確な実態把握に努めてもらいたい。

平成25年度一般会計予算

反対 本田 哲 議員

県下の財政力を活かす

平成25年度予算では、「財政が厳しい」としながら、総額約70億円もの建設事業費を計上している。単年度に集中して、これだけの額を計上できる財政力があるならば、これを活かし、国保税や介護保険料の引き下げ、住宅困窮者の家賃助成などの負担軽減を進める

賛成 山崎雅俊 議員

積極的予算と財源確保を高く評価

平成25年度予算は、子育て、学校教育など、19分野にわたる本市を取り巻く複雑多様化している諸課題に対して積極的な予算となっており。あわせて、引き続き着実な行政改革の実行や、適正な収納対策の推進、枠配分予算の実施等により経費の見直しを図り財源確保が行われたことに対し、高く評価する。

賛成 金野桃子 議員

居場所づくりに中高生の意見を、生活保護費の適切な運用を

歳出面で特に指摘された公共施設の再整備につき、中高生の居場所につくろうとする姿勢に大いに共感し、中高生の意見を広く聞けるよう創意工夫を求める。また、近年増加する生活保護費について、不正受給をなくすとともに真に必要とする人には行き渡るよう適切な運営を求める。

平成25年度国民健康保険特別会計予算

反対 岡崎郁子 議員

緑り入れを増額し税の引き下げを

現下の厳しい経済情勢のもとで、国保加入者の所得も一層厳しくなっている。一般会計からの繰り入れを増額し、負担能力に応じた国保税の引き下げを行

うべきである。国は国保に対する国庫負担の削減を進めている。国に對し国庫支出金の拡大を図るよう強く求めるとともに、市は国保加入者にこの負担をかぶせないよう最大限努力すべきである。生活実態を無視した強硬な滞納対策は行わないこと、高すぎる延滞金の減免の早期実施を強く求め、反対する。

賛成 金野桃子 議員

実施率向上が課題

特定健康診査等事業について、平成25年度からの第二期計画案は、第一期での実施状況の中間評価をもとに新たな計画が練られており、引き続き同事業を行う価値があると評価でき、賛成である。ただ、実施率の向上が大きな課題であり改善を求める。あわせて同事業は健康寿命延長によるQOL（生活の質）の向上とともに、医療費抑制という医療経済的な目的

も有していることを常に意識して事業を実施してもらいたい。

平成25年度介護保険特別会計予算

反対 岡崎郁子 議員

保険料の負担軽減は急務

介護保険は所得階層の細分化なども行われてきたが、年金生活の市民にとっては大変重い負担である。保険料の負担軽減は急務である。市独自の減免や執行停止は行っていないことだが、加入者の生活実態を把握し、適切に対応を行うよう強く求める。国からの調整交付金は、本来5%入るべきところが1.5%と試算されており、差額は約1億5千万円。この分だけでも市財政で応援すべきである。一般会計から介護保険特別会計への繰り入れを決断することを求め反対する。

※討論……提出された議案等の審議の最終段階で、賛成・反対の意見を述べることを討論と言います。



さらなる 学力向上策を

「積極的に取り組む」

戸田の会 酒井郁郎 議員

市長 理数教育は特に課題とらえている。例えば理科支援員の配置などを行い、実験・観察授業の充実を図っている。



▲活発な授業風景（戸田中）

市長 現状を踏まえ、次年度は就労支援専門員を増員し、推進する。

議員 若年者の失業率は全世代のほぼ2倍と高いが、就労可能年数が大きく残っているため、就労に成功した場合の効果も大きいこともあり、取り組み強化願いたい。

若年失業者の 就労支援の強化を

市長 従来の縦割りを排して施設管理を行う。施設のコスト情報を一

議員 市の施設・土地を管理する新部署が設置される。行政の縦割りを排し、市有財産の有効活用を図るべき。さらに、調達も一括して行い、コスト削減を図ってはどうか。

市の施設管理に ついて

市長 市民がより参画しやすい環境をつくるべく、市民とともに検討し、条例案を作成する。

自治基本条例に ついて

議員 同条例が市政に市民の意思を反映する仕組みとなるようご留意願いたい。



市民のくらしを 守る市政に

「保育園は今後も増設する」

日本共産党 望月久晴 議員

公共料金 値上げ撤回を

議員 日本社会を覆っている閉塞感の原因は、年金の削減、低賃金の非正規労働者の増大、勤労者の所得減少などから生まれていると思うが、市長の認識は。

市長 多くの課題に対して進むべき方向が定まらない不安定感、それが払拭されない状況から生じている。

議員 子育て支援の充実のため、引き続き保育園の計画的増設を。

保育園の 計画的増設を



▲4月1日に開園した「太陽の子新曽北保育園」

議員 国保税が家

国保税の 引き下げを

市長 新規に特別養護老人ホームを整備する法人に増設の協力をお願いしていく。

議員 地域包括支援センターの増設と人的体制強化を。

市長 現状の逼迫した国保財政からは国保税の引き下げは非常に厳しい。減免については、ケイ入ごとに実情を把握して対応していく。

括管理し、調達コスト引き下げに努める。



危機管理体制の強力な 推進・対策を求める

「危機管理監の新設で強化を図る」

公明党 三浦芳一 議員

議員 未曾有の「東日本大震災」から3年目。東京湾北部地震や荒川破壊の大災害やその他のリスクに備えて、戸田市の危機管理体制の強力な推進と対策を求めるが、いかがか。

市長 有事の際に迅速かつ適切な対応を図るべく、危機管理部門を市長直轄の組織とするとともに、専任部長として「危機管理監」を新設し、危機管理体制の強化を図る。



▲災害犠牲者への口を目標として講演する群馬大学大学院 片岡孝教授

市長 特に子育て支援、交通安全対策、防災対策などに重点を置いている。

議員 感染症対策と、がん予防対策の強力な推進を図れ。



学校給食における 食物アレルギーの対応は

「アレルギー事故の防止」を徹底

志政クラブ 石井民雄 議員

議員 本市においても再点検を行う必要性があるのではないか。



▲安心・安全な学校給食を提供します

市長 公共施設老朽化については、緊急性の

議員 厳しい財政状況であればこそ、事業の緊急性を判断し、優先性を考慮した財政運営が必要と思うが、その考え方はどうか。

市長 子どもたちの様子を、より一層細かく把握し見守っていく体制を整備し、保護者、地域の方々の協力をいただきながら、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。

いじめ対策について

議員 本市の対策として、具体的にどのようなに進められるのか。

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、3月5日から7日まで、3日間にかけて、14人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。

なお、この一般質問に関する原稿は、総括質問同様、質問者本人が執筆しております。



▲北戸田駅周辺の再開発事業が着々と進められています。



防災公園

関東信越国税局跡地を買収して建設を

「国に利活用を要望する」



議員 戸田地区
ヨナンシ
ン建設
によって

人口の3分の1の人が居住しているが、公園やスポーツ施設が少ない。小中学校以外の防災の拠点も少ない。関信国税跡地にマンションが建設されると、戸田第二小学校の収容にも限界がある。関信国税跡地を買収し、防災公園を建設できないか。



▲関東信越国税局寮（喜沢南）

市民生活部長 12軒あった銭湯も6軒になっている。設備改善等の補助を行い支援しており、今後も支援を堅持する。現在の銭湯が廃業とならないよう経営相談も含め支援を充実する。

入学準備金の保証人条件緩和を

銭湯の廃業対策を

議員 銭湯は入浴の役割と、高齢者の憩いの場としての役割もある。設備投資と円安の影響、利用者の減もあり、経営は厳しい。これ以上廃業すると、風呂に入

議員 連帯保証人の条件に「市税を課税されている人」となっている。資産のある同居親族は緩和すべきでは。

教育部長 貸付額からも、不動産の抵当権設定や不動産売却による返済は、この制度に適さない。

子ども安全対策

福祉保健センター

東側道路に対策を

「早速、看板を設置したい」



議員 道路沿いの「稲荷木公園」からマンション「グリーンフォレスト」北側にある広場へ、子どもたちの横断が多く、危険であるとの声が多い。自動車への注意喚起など、子どもを守る安全対策を講じていただきたい。

土に親しむ広場に防犯カメラ設置を

議員 土に親しむ広場について、今までに利用者から、どのような要望や相談があったか。また、どのように対応しているか。

市民生活部長 広場の増設や、野菜の盗難被害に關しての相談があった。現在は盗難防止のポスター掲示などで対応している。

議員 盗難の再発防止について、防犯カメラ設置などの対策はできないか。

市民生活部長 防犯カメラ等の機材の設置は



▲福祉保健センター東側の道路

一般質問

三輪なお子議員

高齢者の集いの場に街中サロンの設置を

「公共施設の新たな使い方を検討」



議員 高齢者の方をはじめとする多世代が交流できる街中サロンを中学校区に一つ設置できないか。

福祉部長 上戸田福祉センターの再整備をきつかけに、街中サロンの機能を持つ公共施設の新たな使い方を考えていく。



▲誰でも気軽に立ち寄れる。～まちのえき～「かめや」(本町)

体から支援の相談があれば補助金の活用を考えていく。

議員 ボランティアがやる気になるのを待つのではなく市で居場所を整理して運営希望者を募集するのはどうか。

ホームスタートへの支援は

福祉部長 家賃代、運営費など、課題を研究していく。

議員 子育て経験者が定期的に乳幼児がいる家庭を訪問し、子育ての悩みを聞くボランティア活動「ホームスタート」を、市は把握しているか。

子ども青少年部長 有効な子育て支援策として認識している。

議員 戸田市において今後の支援は。

子ども青少年部長 NPO法人がホームスタート事業を本格的に活動実地する際には、市として何ができるか等、検討していく。

福祉部長 高
 高齢者の生活を支える仕組みとして、元気な高齢者の健康を増進し、要介護状態となることを防ぐ仕組みを地域ぐるみでつくるべく、とが求めている。元気な高齢者が目



▲横浜が実施する介護支援ボランティアポイント事業「ヨコハマいきいきポイント」
 (提供: 横浜市健康福祉局介護保険課)

福祉部長 先進事例を参考に、タブレットの有効利用と高齢者支援への活用を研究していく。



議員 介護支援ボランティア・ポイント制度
 的を持つて外に出て活動することにより、自身の健康を維持しつつ、心身のリフレッシュが図られ、介護予防や引きこもり予防といった観点から、有効なものであると考える。ポイント制度も一つの手法であり、今後の事業

議員 買ひ物弱者を支援するため、タブレットを活用して、ネットスーパーを活用した買ひ物支援制度があるが、どのように考えるか。

高齢者支援

介護支援ボランティア・ポイント制度推進を

「広い範囲での調整が必要と考える」

石川 清明 議員

を進めていく上で、ボランティア活動のあり方など、広い範囲での調整が必要と考える。

議員 今後の考え方と課題について伺う。

福祉部長 課題を踏まえ「介護支援ボランティア活動意識調査」を実施し、現在、集計を行っている。結果を分析検討し、さらに研究していく。

議員 買ひ物弱者を支援するため、タブレットを活用して、ネットスーパーを活用した買ひ物支援制度があるが、どのように考えるか。

公営住宅

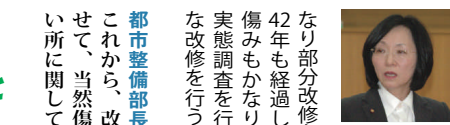
整備と家賃補助の充実を

「ソフト面も含め検討する」

議員 低年金者等への住まいの充実として、特養ホーム等への入居費用助成、また、高齢者世帯賃貸住宅家賃差額助成制度等の要件を緩和し充実すべきでは。

議員 低年金者等への住まいの充実として、特養ホーム等への入居費用助成、また、高齢者世帯賃貸住宅家賃差額助成制度等の要件を緩和し充実すべきでは。

その他の質問
 Q. 駅喫煙所のトラブル解決のため、透明ボードの設置を。
 A. 禁煙マナーにかかわる啓発活動や喫煙場所の管理等を引き続き行い、ボードは他市の事例を参考にしながら今後の検討課題とする。



議員 柳原住宅、後谷住宅はエレベーターがなく、高齢の方々が苦勞している。エレベーターの設置ができないのであれば、下層階の空き部屋への移転。また、移転する際、求められる原状回復費用の軽減を行ってほしい。



▲5階まで階段で高齢者は大変

一般質問

防災対策

災害用井戸の活用 下戸田に福祉避難所を

「心身障害者福祉センターを活用」



議員 大震災時の断水時でも避難所のトイレなどが使えるように、非常用災害井戸と受水槽を配管でつないでおくべきではないか。

総務部長 コスト面から、現在考えていない。

議員 下戸田地域は人口が過密で高齢者比率が高いが、福祉避難所がないので整備を。

総務部長 心身障害者福祉センターを有効に活用して高齢者・障害者の避難生活の負担を抑えたい。

議員 液状化予測情報

システムができるが、問題のある土地について、液状化対策を行えるよう支援制度が必要ではないか。

総務部長 同システムは市民に必要な対策を講じるための材料を提供するもので、支援制度は研究課題としたい。

喜沢にミニ交番を

議員 喜沢交番跡地を警察OBなどが滞在できるミニ交番的なものできないか。

市民生活部長 敷地が狭く、ミニ交番は困難。防犯掲



▲更地になった喜沢交番跡地

望月久晴 議員

示板や防犯カメラの設置等、町会の意見を聞き検討している。

議員 トコバス運行改善を

議員 利用状況、利用者、市民の意見を調査して、全面的な見直しが必要ではないか。

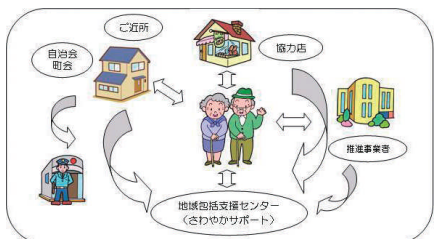
市民生活部長 時期を見て利用者のアンケート調査を実施し、運行見直しを含め検討する。

高齢者福祉

手塚 静枝 議員

地域で支える “おたがいさま”ネットワークを 「総合的な見守り体制を構築する」

福祉部長 ①昨年、民生委員による高齢者見守り訪問を実施した。継続的な見守りを同意した世帯に対し、今後も訪問活動を実施する。地域におけるネットワークの構築へ向けて進みつつあるが、総合的な見守り体制が構築できればと考えている。②高齢化が進む中、外出時や災害時



▲大田区高齢者見守り・支え合いネットワーク
 (東京都大田区高齢福祉課ホームページより)

一般質問

中山 祐介 議員

市職員の
持家手当廃止を求める

「職員団体と継続して協議していく」

議員 戸田市職員の「住居手当のうち、自らが所有する家の維持管理費として支給される手当」、いわゆる「持家手当」について、早急な廃止または説明が市民に求められているが、この手当の廃止を検討しているか。

全国で持家手当が残っているのは30%……

総務部長
持家手当は月額7500円を支給している。また、新築あるいは購入がなされた日から5年間は月額8500円を支給している。適正化に向けて職員団体と協議を進めているところである。

議員 県は既に廃止、さいたま市と川口市でも既に廃止を検討して

いる。戸田市の支給している持家手当は県内で最高額である。さまざまな事情があるのは理解できるが、現在の厳しい経済情勢において、国も地方も割れるところは割り、その時代の経済状況に見合った行財政改革が今必要である。まずは新築加算の廃止。そして早急に廃止に向けて、引き続き取り組んでいただきたい。



市役所から見た住宅地

その他の質問

Q. ハザードマップについて、避難所の選定方法は、

A. あくまで緊急避難措置。

Q. 改訂内容は、

A. わかりやすく充実した内容を目指す。冊子へ、内水ハザードマップを追加してはどうか。

A. 検討する。

教育プログラム

「知識構成型ジグソー法」
の推進を

真木大輔 議員

「検証しながら取り組んでいきたい」



議員 東京大学の教育機構が提供する「知識構成型ジグソー法」は、知識を活用する力やコミュニケーション力な

どの次世代に必要な能力を育む指導法であり、学力向上だけでなく生徒指導にもつながる。市内学校への推進を。教育部長 既にジグソー法を導入している市

「知識構成型ジグソー法」
いぶん考えさせられ、興味すること
一人ひとりの理解が深まる

▲ジグソー法のしくみの一部（提供：東京大学
大学発教育支援コンソーシアム推進機構（CoREF））

内先進校の成果を検証しつつ、教員研修や他校への紹介、及び教材共有に取り組む。

「青少年の居場所」
の実施拡大を

議員 福祉センター等の空き部屋を小中高生に開放する「青少年の居場所」だが、今後の拡大を考えているか。

議員 福祉センター等、次世代を担う青少年の育成を支援するため、関係機関と調整しつつ拡大していきたい。

福祉部長 福祉センターにある40畳程度の「老人いこいの室」の夕方開放を含め、利用者の理解を得ながら、協力していきたい。

その他の質問

Q. 「地域版洪水ハザードマップ」の作成、電柱などへの避難場所標識設置の推進を、平成27年度までに全町会・自治会での作成を目指す。電柱への標識設置は順次進めており、建物や道路への設置も検討する。

A. 委託業者と調整の上、早期配布に努める。ホームページ公開は次期市長選に間に合わせる。

金野 桃子 議員

シングルマザーの
保育料に寡婦控除を

「控除のみなし適用も含め検討する」

子育て政策



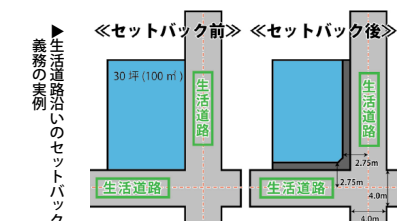
議員 ①非婚ひとり親は寡婦控除を受けられず経済的負担が大きい。未婚ひとり親の実態は②寡婦控除のみなし適用を含め今後の対応は。子ども青少年部長 ①児童扶養手当の申請状況に基づく市内で非婚ひとり親が0〜6歳児を扶養しているのは30件強と推定される②

法律婚の有無で差異が出るこの不公平感は認識している。関連部門との調整や実態等調査し、検討する。

都市整備部長 ①地権者等から約80件の意見書が提出されたため24年度内の決定は見送る②今後の建築行為等を規制するため都市計画法上の7項目を定める。

議員 意見書が出たことを真摯に受けとめ、意見書の公表、まちづくり協議会の活性化、全地区対象の説明会を実施すべき。特に生活道路沿いのセットバック

クについて説明会を開き、説明責任を果たせ。都市整備部長 周知不足との意見を受け、意見概要の公表、説明会開催を検討する。協議会の活性化は会に諮る。



▶生活道路沿いのセットバック義務の実例

新たなテーマで動いています

委員会は、議案や請願の審査のほか、所管の範囲で調査事件を定め、能動的に市政に関する調査活動を行うことができます。本市議会では、常任委員会ごとに具体的な活動テーマを決め、原則、毎月1回委員会を開催し、行政に対し意見、政策提案をしています。

平成25年から常任委員会委員の任期が2年となり、テーマ設定も、2年をかけて調査するもの、それより短い期間で成果を出そうとするものなど、さまざまになりました。

委員会	活動テーマ
総務	1. 自治基本条例 2. 防災への取り組み 3. 公共施設の適正な管理・運営
文教・建設	1. 安全で快適な都市整備について 2. 児童生徒を取り巻く教育環境について
健康福祉	1. 高齢者の生活を豊かにする情報通信技術の活用に向けて
市民生活	1. 新エネルギーと環境に配慮したまちづくりについて 2. 地域コミュニティの活性化と市民活動支援について

「とだ議会だより」への
御意見をお寄せください。

今後の紙面づくりに生かすため、皆様からの御意見・御要望をお待ちしております。

※宛先は、20ページの欄外に記載してあります。

議会日誌

1月

- 15日 議会広報委員会
- 16日 大阪府田尻町議会視察来庁
- 17日 議会モニター委嘱状交付式
- 18日 県議長会役員会
- 20日 戸田市議会議員一般選挙告示
- 22日 一区議長会議員研修会
- 24日 愛知県岡崎市議会視察来庁
- 27日 戸田市議会議員一般選挙投票開票
- 31日 福島県田村市議会視察来庁

2月

- 4日 県市議会議長会議員行政研修会
- 6日～ 8日 2月臨時会 本会議(初議会)
- 12日 戸田競艇組合議会運営委員会
議会基本条例研修会
- 13日 蔵戸田衛生センター組合議会運営委員会
- 14日 議会運営委員会／議会基本条例推進部会
- 15日 議会広報委員会
- 18日 戸田競艇組合議会
- 19日 蔵戸田衛生センター組合議会
宮城県石巻市議会視察来庁
- 20日 議員研修会
- 21日 本会議(開会、施政方針、総括説明、詳細説明)
議会運営委員会
- 22日 本会議(詳細説明)
- 27日 戸田競艇組合議会
- 28日 蔵戸田衛生センター組合議会

3月

- 1日 本会議(総括質問)／議会広報委員会
- 4日 本会議(議案質疑)／委員長会議／議会運営委員会
- 5日～ 7日 本会議(一般質問)
- 7日 議会運営委員会
- 11日～13日 総務委員会／文教・建設委員会
健康福祉委員会／市民生活委員会
- 14日 文教・建設委員会／健康福祉委員会
交通対策特別委員会／議会改革特別委員会
議会運営委員会／議会基本条例推進部会
- 19日 文教・建設委員会
- 21日 本会議(委員長報告、討論、採決)
議員互助会役員会／議会基本条例推進部会

6月

定例会の予定

6月3日	本会議	議案等説明
10日	本会議	質疑
11日	本会議	一般質問
12日	本会議	一般質問
13日	本会議	一般質問
14日	本会議	一般質問
17日	委員会	常任委員会
18日	委員会	特別委員会
24日	本会議	討論・採決

※日程は変更になる場合があります。議会事務局
局にお問い合わせください。
議会事務局 048-441-1800 (内線623, 624, 543)

題字を書いてくれた人

とだ



この字は、「とだが優しい」というイメージで、優しく書きました。「とだ」の「と」は曲がるところをふんわりと書き、「だ」は「と」の大きさに合わせて、バランスよく書きました。

笹目中学校 3年 ^{しもだ ひなこ} 下田 妃奈子 さん

戸田市への視察項目、24年度は断トツで政策研究所でした

『地域主権時代に求められた議会改革』議員研修会を開催

戸田市議会では、2月20日に東京大学大学院教授の金井利之氏を講師に招き、「地域主権時代に求められた議会改革」と題して研修会を開催しました。

今回の講演では、昨年9月に公布された地方自治法の一部を改正する法律の議会に関わる部分について、国会の歴史や政治的背景を交えながら、議会のあるべき姿のご提言をいただきました。

そして、「地域主権時代」は終結を迎えつつあり、「国家主権時代」に逆行しないよう努力するのが自治体関係者の責務であると訴えられ、新しくスタートを切った戸田市議会としても、大変有意義な研修会となりました。



▲講師は金井利之氏

健康

おかげで体力的には激戦をどうにか頑張らされた。ヨガは体の全神経を若返らせてくれるという。脳の活性化に大いに期待しながら、高まる食欲に打ち勝ち、ワイワイガヤガヤ楽しもう。(花)

あ

る校のきれいな日、3人の小学生に呼びとめられた。「呼んだ？あれ、さっきの...」「先程は卒業式に出席していたんだ、ありがたうございました！」式に感動し、戸田の若者のさわやかさに感激した春の日でした。(酒)

待

ちに待った45年ぶり2回目の優勝！桜の花が満開とともに埼玉の地に優勝旗到来。夢と希望と感動を与えてくれた高校球児に、ありがたうと感謝申し上げます。白球を追いかける高校球児のように頑張るぞ！(ま)

神

戸に行く機会がありました。震災から18年、そこで知ったシンプルな事実、「日常的にきれいに片付いている家からは負傷者が余り出ていない」ということ。家に帰り、階段の踊り場をきれいにし、玄関の靴を整理しました。(な)

春

です。新緑が芽生え始めた中で、好きなゴルフを楽しみたいと思っていますが、なかなか時間がつかれません。半年以上クラブを握っていませんので、スコアは期待しませんが、青空の下、新鮮な空気と緑の中で楽しみたいです。時間がつかれるかな。(M)

ほっとふーな

ほっとふーなコーナは、議会広報委員10人が2組に分かれ、定例会号ごとに、交互に執筆します。新委員からの、ほっとする便りをどうぞ。